

# 第4回 医療と創造性及び 世界平和シンポジウム

テーマ「医療と家庭の健康」



日時

2021年9月23日(木・祝)

開場 12:30 開会 13:00 閉会 16:00

会場

札幌国際ビル 国際ホール

北海道札幌市中央区北4条西4丁目1番地



主催：一般社団法人 Creative Internationals Medical

# 医療と創造性及び世界平和シンポジウム

## 「医療と家庭の健康」

13:00	開演
13:10	基調講演Ⅰ 「ホリスティック的健康観：家庭の健康から世界の平和へ」 日本ホリスティック医学協会名誉会長 帯津 良一先生
13:55	基調講演Ⅱ 「家庭の癒し～心身の健康生活術～」 イシハラクリニック 石原 新菜先生
14:50	パネルディスカッション ①臨床現場からの提言 亀田ファミリークリニック館山家庭医診療科・聖路加国際病院心療内科 宮本 侑達先生 医療法人社団真愛会 札幌ファミリークリニック理事長 鈴木 重裕先生 ②総合討論 「社会変革と家庭医療のあり方」 代表質問者 手塚 充揮 札幌医科大学 6回生 / 鈴木 萌里 北海道大学医学部 4回生
16:00	終了

※関係者以外の「録音及びビデオ撮影」はご遠慮ください。

## 2021年五大都市シンポジウムスケジュール

2021年 5月	第2回 医療と音楽	名古屋
2021年 7月	第3回 医療と青少年教育	大阪
2021年 9月	第4回 医療と家庭の健康	札幌
2021年 10月	第5回 医療と武道	福岡
2021年 11月	第6回 医療とテクノロジー	東京



## 主催者挨拶

一般社団法人

Creative Internationals Medical

代表 山口 守道

私達 CIM は、「医療を通じて世界平和を実現する」というビジョンの元に、病気そのものを扱う以上に、予防医療を通じて、「平和な地域社会」、「平和な世界」を創造することが、医療本来の役割であると考えています。

その為に、昨年より「医療と創造性及び世界平和」をメインテーマに掲げ、毎回様々な専門分野の先生方を講師に迎えて、医療を統合的に捉え直すシンポジウムを企画して参りました。

第1回「医療による創造性と世界平和とは：創設大会」 帯津良一先生

第2回「医療と音楽の統合」 新見正則先生 武本京子先生 伊藤康宏先生

第3回「医療と青少年教育～心と身体の健全育成～」 中野信子先生 藤原和博先生 藤澤隆史先生

4回目となる今回のシンポジウムは、「医療と家庭の健康」をテーマに基調講演とパネルディスカッションを行います。家庭のあり方や家庭の健康とは何か？医療が家庭の健康に対して果たすべき役割を皆さんと共に考え、世界平和に繋がる道を見いだす契機となれば幸いです。



## 理事挨拶

一般社団法人

Creative Internationals Medical

北海道担当理事 鈴木 重裕

今日、新型コロナ・パンデミックによって、私たちは人類歴史上、今まで経験したことのない不安な時代に突入しました。特に、人間の健康に関連する医療、介護、福祉、学校教育等の領域では、極めて深刻な事態に陥っているのが現状です。豊かさの象徴を「モノ」に求めた時代が終わり、これからは、人と人との繋がりの中に、精神的な豊かさが求められる「ココロ」の時代へと突入したのです。医療分野においても大変革が必要であり、医療そのものをより高い次元で捉え、平和な世界を創造することが医療本来の役割であるとの信念で、「医療と創造性及び世界平和」をテーマに、シンポジウムを企画してきました。今こそ「新しい環境創造」が願われております。

そこで、北海道 CIM(Creative Internationals Medical) では「世界平和の礎は家庭にある」をコンセプトとして、「癒し」と「創造性」の観点から、ホリスティック医学の第一人者であられる帯津良一先生、母親であり自然療法家としても著名な医師、石原新菜先生をお迎えして、この度、北海道でシンポジウムを開催することになりました。この「北の大地」から、ウィリアム・スミス・クラーク博士が、私達に託された、創造性に溢れたフロンティア精神、高邁なる大志「Lofty ambition」精神をさらに輝かせて、個人、家庭から、日本、世界に発信すべく、私たちは「新しい環境創造」の先頭に立つ所存です。

## ◇ 基調講演 I

### 「ホリスティック的健康観：家庭の健康から世界の平和へ」



#### 帯津 良一先生

日本ホリスティック医学協会名誉会長

1936年埼玉県生まれ。東京大学医学部卒業。医学博士。

都立駒込病院外科医長を経て、1982年帯津三敬病院開設。現在は名誉院長。がん医療一筋に50余年の経験を持ち、現在も臨床の場で多くのがん患者の治療に関わっており、多くのがん医療と生き方についての講演活動も精力的に行い、全国を駆け回っている。

著書に『ガンに勝つ＜食・息・動・考＞強健法』（講談社）、『がんを治す大事典』（編著、二見書房）、『自然治癒力の高め方』（ごま書房）、『健康問答』（五木寛之との共著、平凡社）、『生きるも死ぬもこれで十分』（法研）、『人の哀しみがわかる医者になってほしい』（イースト・プレス）『汝のこころを虚空に繋げ』（風雲舎）ほか多数。

## ◇ 基調講演 II

### 「家庭の癒し～心身の健康生活術～」



#### 石原 新菜先生

イシハラクリニック

1980年長崎市生まれ。

幼少期をスイスで過ごし、帰国後は伊豆の緑豊かな環境に育つ。

医学生頃から自然医学の泰斗で医学博士の父、石原結實と共にメキシコのゲルソン病院、ミュンヘン市民病院の自然療法科、英国のブリストル・キャンサー・ヘルプセンターなどを視察し、自然医学の基礎を養う。現在は父の経営するクリニックで漢方薬処方を中心とする診療を行っている。

著書に13万部を超えるベストセラーとなった「病気にならない蒸しショウガ健康法」（アスコム）他、「読む冷え取り」（主婦の友社）、『体を温める漢方で不調を治す』（PHP文庫）、『体を温める』と子どもは病気にならない』（PHP研究所）、「水出し健康法」（幻冬舎ルネッサンス）、「『冷え』をとれば9割治る!」（海竜社）、「一週間で体が変わる『温め美人』生活」等、約40冊がある。中国、香港、韓国、台湾、ベトナムなどで翻訳されている。

## ◇ パネルディスカッション

### ① 臨床現場からの提言

#### 「医療と家庭の健康」



#### 宮本 侑達先生

亀田ファミリークリニック 館山家庭医診療科・聖路加国際病院心療内科

2014年昭和大学医学部卒業。

亀田総合病院・亀田ファミリークリニック 館山にて勤務し、家庭医療専門医取得。現在同施設で外来・訪問診療に携わりながら、聖路加国際病院心療内科でも診療を行う。



#### 鈴木 重裕先生

医療法人社団真愛会 札幌ファミリークリニック 理事長

札幌医科大学医学部卒業。メルボルン大学医学部大学院修了。札幌でクリニックを開業し、診療に携わって20年。専門は心身医学（心療内科、内科、小児科、産婦人科）で、家庭における女性の役割に注目した診療に力を入れている。

### ② 総合討論

#### 「社会変革と家庭医療のあり方」

##### 代表質問者



#### 手塚 充揮

札幌医科大学 6回生



#### 鈴木 萌里

北海道大学医学部 4回生

## シンポジウムスタッフ

#### 企画/運営

高橋 弘樹  
仲田 恭子  
藤村 奏絵

#### 音響 / PC

鈴木 彰人

#### 会場

鈴木 彰人  
馬場 晋  
久保秋拓也  
西垣 邦洋

#### 映像

春日 安秀  
菅野 範之  
水石 隼人  
渡辺 惣太

#### 受付

長谷川 里実  
鈴木 萌里  
三田 早悠利

#### 会場案内

古田 喜美

#### アテンド

山本 絵理

#### 司会

平井 憂

#### カメラ

佐藤 智之  
平岡 亨誠